

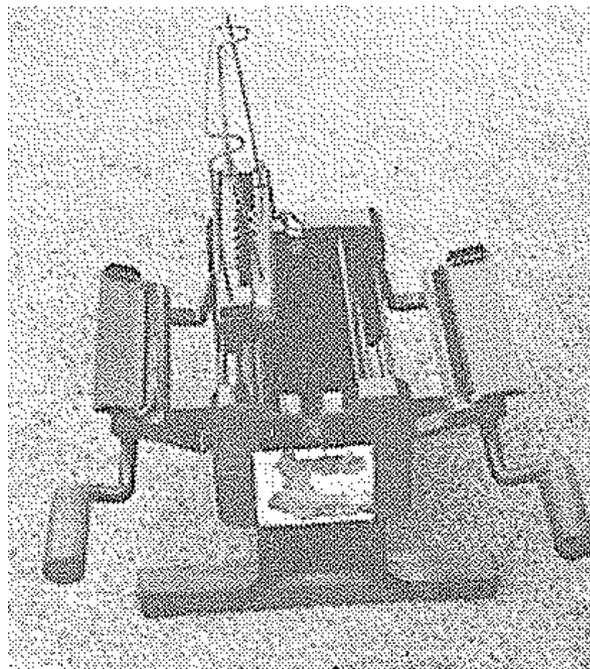
明治43年 豊川門前町にて二角式製簇器 の製造販売

製ゾク器とは、蚕が繭を作りやすいように、ワラを山のような形に折る機械で、養蚕用には不可欠のものだった。

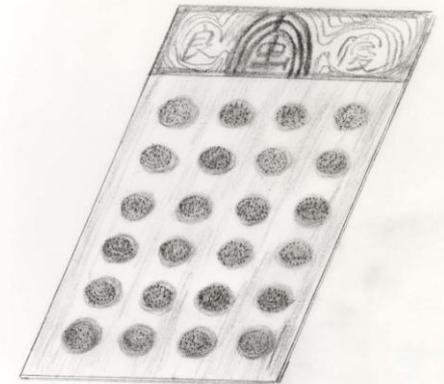
二角式とは、1往復で二つの角が出来るためにつけられた名前です。

価格 4円50銭

養蚕具二角式製簇器



明治43年～昭和16年



明治、大正時代の養蚕紙



繭

マユとカイコの卵